議　　事　　録

業務件名	須崎市公共下水道施設等運営事業		
日　　時	令和 5 年 11 月 27 日（金）	自　13：30　～　至　14：30	
出席者	須崎市建設課　3 名		
	須崎市環境未来課　2 名		
	農林水産課　1 名		
	（株）クリンパートナーズ須崎（以下 CPS）　6 名		
打合せ場所	須崎市役所	記録作成者	CPS
資料	・令和 5 年 10 月度すさき家パートナー会議資料（CPS）		

打合せ事項、対策・合意事項等
令和 5 年 10 月度すさき家パートナー会議
1.出席者を確認した。
2.今月のセルフモニタリングのチェック項番について
・セルフモニタリング会議で確認したチェックリスト項番を確認した。
3.経営に関する業務
・10 月度の財務状況を確認した。
・法令順守、情報公開に関して、特に問題となるような事項が無いことを確認した。
4.汚水管渠
・当月は、日降水量 100mm 以上の降雨日はなかったため、大雨後の巡視は実施しなかったことを確認した。
・劣化リスクの高い 12 人孔の巡視・点検を行った。各箇所で軽微な劣化が見られたが、緊急を要する異状は見られなかった。
・修繕推奨項目リストは、前月から変更がないことを確認した。
5.雨水管渠
・当月は 14 人孔の巡視、点検を行ったことを確認した。
・10 月の点検結果から、6-R39 覆蓋、6-R45 人孔躯体、18-R50 躯体の劣化が著しいと判断し、修繕推奨項目リストに上記 3 箇所の追加を確認した。
（次項へ続く）

打合せ事項、対策・合意事項等
6.終末処理場
・10 月の降水量は過去 5 年間で最低値であったため、月間流入水量も同様に最低の記録となった。
・放流水質は全項目で基準値を満足する結果であったことを確認した。
・10 月の脱水ケーキ発生量は 2,338kg となり、当月は住友大阪セメントへ 5,760kg を搬出したことを確認した。
・10 月 26 日に塩素混和池の浚渫、清掃を実施したことを確認した。
7.クリーンセンター横浪
・この 2 ヶ月は、更新工事等の影響により処理水量が少なかったが、10 月は平年並みに戻ったことを確認した。
・10 月 24 日に No.2 第一調整槽撹拌機更新工事が実施された。これにより、第一調整槽の撹拌が正規 2 台で行われる状態に復旧したことを確認した。今後、令和 2 年 11 月に故障した No.1 第三調整槽水中撹拌機の早期修繕が望まれる。
・10 月 2 日に破砕機本体上部の集塵ダクト部で発生した火災は、早期に鎮火し損傷は少ない範囲でおさまった。なお、破砕機は各部の点検を行い、10 月 18 日に運転再開していることを確認した。
・破砕機及び周辺機器は老朽化が進んでおり、メーカーによる各部の点検依頼、破砕機投入前の爆発物の選別、散水等を引続き徹底することを確認した。
・浸出水処理施設の精密機能検査は、R6 年 3 月までに実施予定である。（市）
・浸出水処理施設の槽内汚泥引抜等の保守点検作業は 12 月に実施予定である。（市）
・埋立地の仮置きごみ処理の外部委託については、現在、委託先と契約手続き中である。（市）
8.漁業集落排水処理施設
・7 月に低値であった蜂ヶ尻処理施設の放流水pHは、10 月の少雨の影響はなく、8 月から継続して正常値に戻っていることを確認した。
・池ノ浦地区の制御盤内のマグネットスイッチ（電磁開閉器）の異常については、引続き交換に向けて対応中であることを確認した。
・中ノ島地区の処理施設に隣接する公衆トイレ電灯の制御盤内タイマーウォッチ交換は終了したことを確認した。
9.雨水ポンプ場
・10 月は保守点検の結果、公共ポンプ場のプラグラムコントローラー故障が確認され、修繕推奨項目リストに項目を追加したことを確認した。
10. その他連絡事項
・11 月 22 日クリーンセンター横浪にて、破砕機下部のベルトコンベア部より発煙があり、現場作業員による鎮火作業があったことを報告した。引き続き不燃ごみの分別、散水に留意し、破砕機処理終了までの監視強化について確認した。
・次回すさき家パートナー会議の日程を確認した。
（以上）

須崎市公共下水道施設等運営事業

すさき家パートナー会議資料

(令和 5 年 10 月度)

令和 5 年 11 月 27 日

株式会社クリンパートナーズ須崎

【 目 次 】

1 出席者 1
2 開催場所、日時 1
3 セルフモニタリングについて 2
4 経営のモニタリング結果（令和 5 年 10 月度） 3
4.1 財務管理 3
4.2 内部統制 3
4.3 情報公開 3
4.4 その他 3
5 維持管理のモニタリング結果（令和 5 年 10 月度） 4
5.1 汚水管渠 4
5.2 雨水管渠 11
5.3 終末処理場 21
5.4 クリーンセンター横浪 25
5.5 漁業集落排水処理施設 32
5.6 雨水ポンプ場 35
6 その他連絡事項 38

1 出席者

団体	所属	出席者
須崎市	建設課	３人
	環境未来課	２人
	農林水産課	１人
株式会社クリンパートナーズ須崎（CPS）	取締役	１人
	企画管理部 調査計画部	２人
	施設管理部	３人

2 開催場所、日時

場所：須崎市役所　会議室

日時：令和 5 年 11 月 27 日（月）13 時 30 分～

3 セルフモニタリングについて

今月の CPS によるセルフモニタリングは、主に以下の内容について行った。

（10 月度の確認チェックリストは末尾に添付）

また、11/17 に行ったセルフモニタリングにおける主な確認内容を次項以降に記載した。

表 3-1 セルフモニタリング確認表（R5 年 10 月度）

種別	項目	10月度確認チェックリスト項番
経営	第三者委託	1-3、1-5
	財務状況	1-6、1-7、1-8
	内部統制	1-11、1-13、1-14
	情報公開	1-16
	技術管理	1-17
維持管理	リスク管理	2-3、2-4
	汚水管渠	2-13
	終末処理場	終-4、終-5、終-6、終-7、終-8、終-10
	漁集処理場	漁-1、漁-2、漁-3、漁-4、漁-5、漁-6、漁-10
	クリーンセンター横浪	CC-4、CC-5、CC-6、CC-7、CC-9
	雨水ポンプ場	雨P-1、雨P-2、雨P-6、雨P-7、雨P-11、雨Ｐ-13
	雨水管渠	雨管-4、雨管-5、雨管-8、雨管-10

4 経営のモニタリング結果（令和 5 年 10 月度）

4.1 財務管理

1） 収支結果（令和 5 年 10 月度）

・10 月度の単月収支実績を示した。

4.2 内部統制

1） CPS の新型コロナウィルス対策

CPS が行っている主な新型コロナウィルス対策としては以下の通りである。

・維持管理を担う社員の居室を 1F と 2F に分けて感染リスクを分散する。

・ミーティング時には社員間の距離を確保する。

・居室入り口に消毒液を設置し小まめに使用する。

・定期的に室内に外気を取り入れるなど、十分な換気を行う。

・終末処理場のエントランスに設置の検温器で入場者の検温を実施。

2） 法令順守

・現段階において法令に違反するような事項は確認されていない。（特に就業表にて労基法違反等がないか確認）

4.3 情報公開

・CPS ホームページに、過去の定例会の概要（議事録）、施設の維持管理状況（放流水質等）をアップしている。

4.4 その他

・10 月 30 日、31 日に公認会計士による会計監査が行われた。主にＣＰＳ経理に関する全般事項、契約・委託関係事項に関する書類等の査閲が行われた。

5 維持管理のモニタリング結果（令和 5 年 10 月度）

以降に、令和 5 年 10 月度における維持管理状況のモニタリング結果を示した。

確認はチェックリストにより行い、確認資料の抜粋編を以下に記載した。

※点検管理内容の詳細は、別添の各施設管理月報、日報資料参照

5.1 汚水管渠

汚水管渠の維持管理として、過年度に実施された汚水管渠劣化調査結果やストックマネジメント計画を基に、重要路線及びその他路線上の緊急度Ⅱと判定された汚水管渠前後の人孔及び管口部を優先的に点検調査を行う。

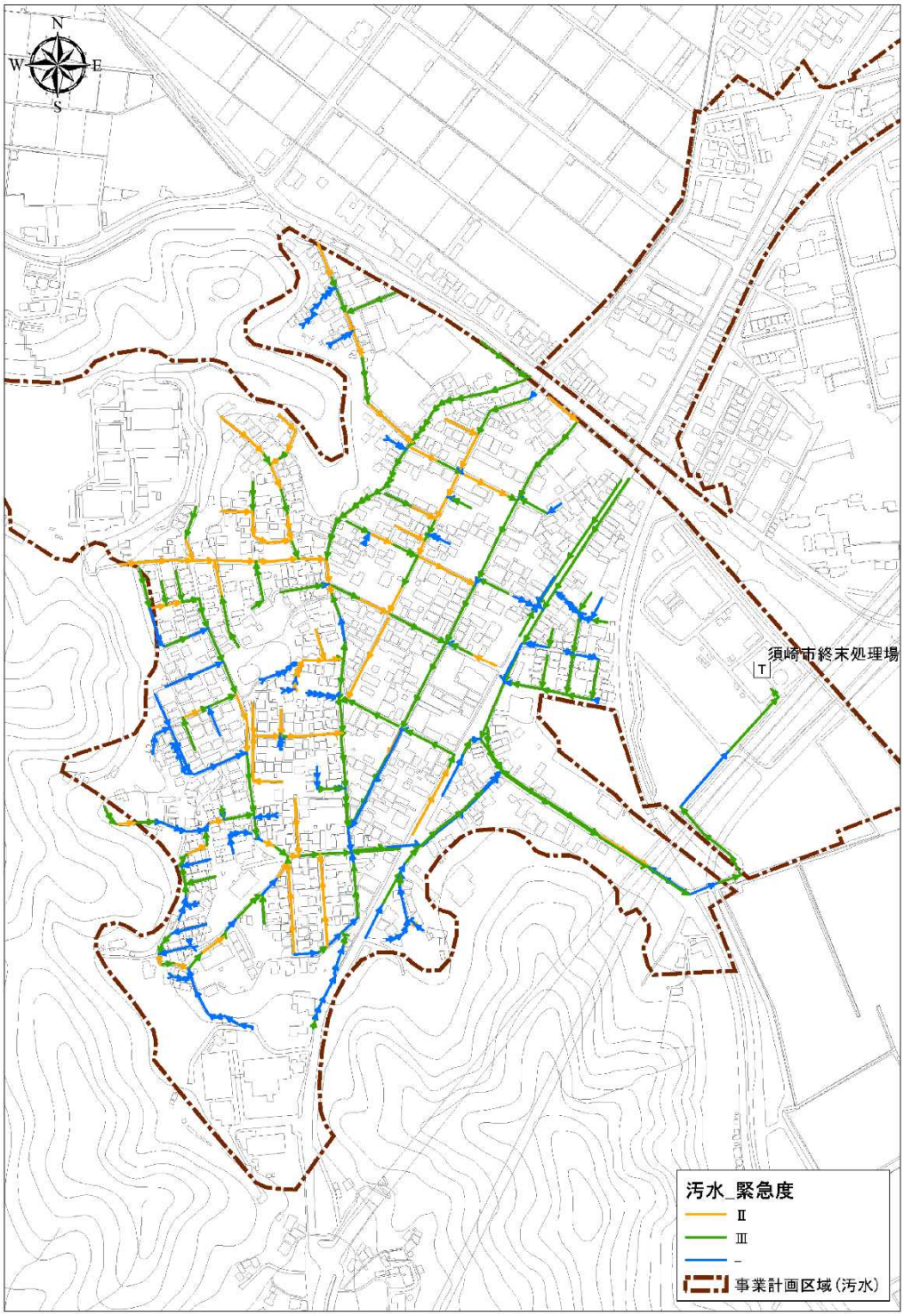
表 5-1 点検・調査集計表

①道路陥没リスク			②管渠閉塞リスク			③-1影響度の大きい管路（幹線管渠）			③-2影響度の大きい管路（県道下管渠）			④腐食環境下路線（急勾配直下管渠）		
路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長
1-0-2	HP600	10.76	5-0-13	VU200	63.45	1-0-2	HP600	155.9	5-1-3	HP250	47.55	5-6-1-1	VU200	16.35
5-0-11	VU200	52.5	5-0-13	VU200	48.05	1-0-2	HP800	99.25	5-1-4	VU200	40.55	5-5-2	VU200	22.7
5-0-1bs	VU200	24.9	5-0-1bs	VU200	33.9	1-0-3	HP600	25.35	5-1-5	VU200	23.7	5-5-5	VU200	64.4
5-0-1cs	VU200	29.95	5-6-1-1	VU200	48.95	1-0-3	VU600	28.7	5-1-6	VU200	142.45	5-5-7	VU200	37.8
5-1-2	HP250	64.55	5-6-3a	VU200	23.05	5-0-1a	VU300	56.1	5-1-1-1	VU200	78.15	5-5-8	VU200	39.9
5-0-2bS	VU200	24.95	5-7-1b	VU200	96.95	5-0-1b	VU300	60.05	5-1-4-1	VU200	64.35	5-5-9	VU200	33
5-0-2cS	VU200	35.25	5-8-1	VU200	32.2	5-0-1c	VU300	60.15	5-1-4-3	VU200	102.45	5-5-3-2	VU200	44.2
5-2-1-1a	VU200	12.85	5-9-3	VU200	26.55	5-0-1d	VU300	64.05	5-1-4-2	VU200	38.15	5-5-3-3	VU200	113.6
5-0-6-cS	VU200	30.85	5-9-4	VU200	61.55	5-0-2a	VU300	6.65	5-2-1	VU200	35	5-5-5-2	VU200	37.95
5-9-8-1	VU200	18.1	5-9-4-2	VU200	13.05	5-0-2b	VU300	52.55	5-2-2	VU200	80.35			
5-9-1-1	VU200	32.4	5-5-3	VU200	11.7	5-0-2c	VU300	58.15	5-8-1	VU200	64.15			
5-9-5-1-1a-1	VU200	33	5-5-4	VU200	13.55	5-0-3	VU250	38.05	5-4-1a-1	VU200	61.5			
5-11-1	VU200	36.95	5-5-6	VU200	64.2	5-0-4	HP250	38.35						
5-11-4a	VU200	26.3	5-5-10c	VU200	17.65									
5-11-4b	VU200	25.7												
5-11-3-1	VU200	30.6												
5-5-10a	VU200	18.35												
5-5-3-1-1	VU200	33.85												
5-5-3-4	VU200	10.85												
5-5-4-1b	VU200	17.5												
延長計		570	延長計		555	延長計		743	延長計		778	延長計		410

※1：①、②は、H29年度実施の汚水管渠劣化調査結果より集計。

※2：③、④は、H30年度事業計画図書等より集計。

※3：延長は、人孔間延長を計上し、①～④で重なる部分は若い番号（優先度高）で計上。



参考：ストックマネジメント計画

図 5-1　緊急度分布図（汚水）

1) 大雨時の巡視

降雨後の巡視は、日降水量 100mm 以上を目安に実施しており、10 月は 8 日（日）の日降水量が 25.50mm（気象庁データ）が最大であったため、大雨後の巡視は実施しなかった。

2) 管渠の巡視・点検

汚水管渠の維持管理として、過年度に実施された汚水管渠劣化調査結果やストックマネジメント計画を基に、重要路線及びその他路線上の緊急度Ⅱと判定された汚水管渠前後の人孔及び管口部を優先的に点検調査を行うこととする。

当月度の実施数量は、下表の通りである。

表 5-2 巡視・点検実施数量

実施日	人孔 レコードID	下流管渠 レコードID	人孔番号	分類	管種・管径	下流管渠 延長(m)	マンホール （箇所）	マンホール蓋 （箇所）
2023/10/3	189	184	S190	その他路線･緊急度Ⅱ	VU200	11.50	1	1
	205	199	S150	その他路線･緊急度Ⅱ	VU200	3.05	1	1
	202	200	S151	その他路線･緊急度Ⅱ	VU200	17.40	1	1
	206	201	S152	その他路線･緊急度Ⅱ	VU200	23.10	1	1
	195	202	S153	その他路線･緊急度Ⅱ	VU200	6.50	1	1
	207	203	S154	その他路線･緊急度Ⅱ	VU200	5.00	1	1
	208	204	S155	その他路線･緊急度Ⅱ	VU200	9.60	1	1
	209	205	S156	その他路線･緊急度Ⅱ	VU200	7.30	1	1
	210	206	S157	その他路線･緊急度Ⅱ	VU200	5.00	1	1
	393	398	S148-10	その他路線･緊急度Ⅱ	VU200	5.05	1	1
	388	394	S148-5	その他路線･緊急度Ⅱ	VU200	5.48	1	1
	221	217	S128	その他路線･緊急度Ⅱ	VU200	7.00	1	1
計						105.98	12.00	12.00

表 5-3 マンホール点検及び調査における判定基準

部位		異常項目	判定基準		
			Aランク	Bランク	Cランク
蓋及び路面	路面	路面状況	舗装版にｸﾗｯｸや欠けがあり、通行に支障を来たす	段差が生じている、擦付けが悪く水がたまる	蓋上部に水がたまる、道路との擦付けが悪い
	蓋受枠	蓋違い，ガタツキ	開閉できない	ガタツキがある	—
		蓋の破損・劣化	蓋・受け枠にｸﾗｯｸや欠けがある	—	—
		蓋の摩耗	表面がつるつるして通行に支障をきたす(車歩道部の蓋溝高さ2mm以下)	摩耗が大(車道部の蓋溝高さ:2～3mm以下)	摩耗が小(車道部の蓋溝高さ:2～3mm以上)
		蓋裏の錆	—	多量発錆	少量発錆
マンホール	調整部	調整部状況	調整モルタル及びリングが破損・欠落	調整リング及びリングのズレ	調整モルタル及びリングのずれ・クラック
	斜壁	腐食	鉄筋露出	骨材露出	表面の荒れ
		破損	欠落・陥没	全体に亀裂	軽微な破損(A・B以外)
		クラック	全体がクラック(人孔全周、幅5mm以上)	部分的にクラック(人孔半周、幅2～5mm)	軽微なクラック(幅2mm未満)
		隙間・ズレ	全体が脱却	一部が脱却	わずかの隙間・ズレ
		浸入水	噴き出ている状態	流れている状態	にじんでいる状態
		木根侵入	内径の50%以上	内径の10～50%	内径の10%未満
	直壁（管口部含む）	腐食	鉄筋露出(表面pH:1程度)	骨材露出(表面pH:3未満)	表面の荒れ(表面pH:3以上5以下)
		破損	欠落(陥没)	全体に亀裂	軽微な破損(A・B以外)
		クラック	全体がクラック(人孔全周、幅5mm以上)	部分的にクラック(人孔半周、幅2～5mm)	軽微なクラック(幅2mm未満)
		隙間・ズレ	全体が脱却	一部が脱却	わずかの隙間・ズレ
		本管突出・抜出し	100mm以上突出・抜出しがあり、流下に支障をきたす	50mm以上突出・抜出しがあり、流下に支障をきたす	50mm未満突出・抜出しがあり、流下に支障をきたす
		浸入水	噴き出ている状態	流れている状態	にじんでいる状態
		木根侵入	内径の50%以上	内径の10～50%	内径の10%未満
		たるみ	内径の3/4以上	内径の1/2～3/4	内径の1/2未満
	付帯物	足掛金物	欠落している	鉄筋が細くなっている	錆の発生
		ｲﾝﾊﾞｰﾄ	インバートがない	部分的な破損	—
	その他	臭気	常に発生	使用ピーク中に発生	季節的に発生
流下状況		油脂・ﾓﾙﾀﾙ・土砂等の堆積状況	管径の1/3以上の付着	管径の1/3～1/10の付着	管径の1/10未満の付着

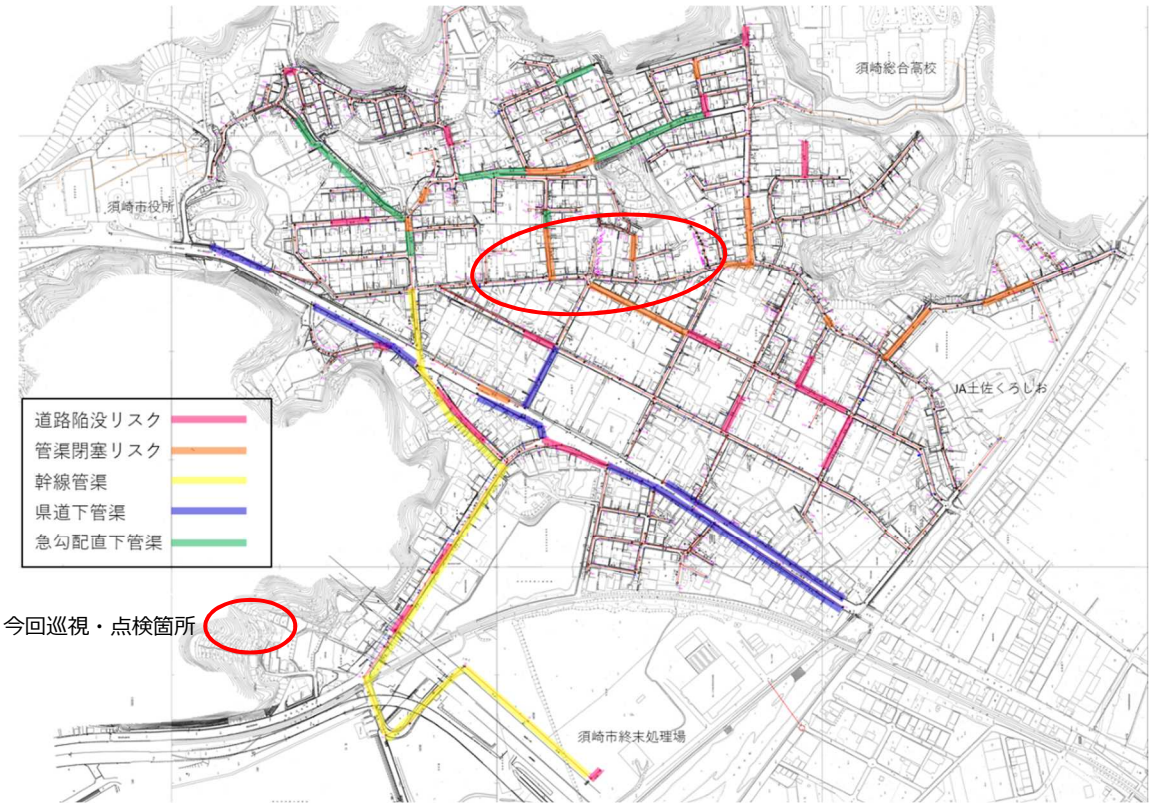


図 5-2 全体位置図

参考：Google map

図 5-3 対象路線位置図

○巡視・点検結果

以下に、巡視・点検の代表地点の写真を添付し、異状箇所について特記事項を記す。

10 月度の巡視・点検では著しい異状箇所は無かったため、写真の添付を省略する。

○巡視点検結果による考察

今回点検路線の路面状況について、緊急対応を要する異状は見られなかった。ただし、緊急度Ⅱの判定箇所もあることから、引続き巡視、点検を行っていく。

上記点検結果を踏まえ、異状箇所の一覧を次頁に添付する。

表 5-4 人孔異状項目リスト

委託業務の名称	令和5年度　須崎市公共下水道管渠運営業務　人孔異状項目							
巡視・点検日	異状の程度	異状箇所			項　　目	状　　態	完了日	備　　考
		地域	ﾏﾝﾎｰﾙ RECID	下流管渠 RECID				
2023/10/3	C	大間	189	184	蓋・受枠　錆	少量発錆		
	C	大間			斜壁	表面荒れ		
	C	大間			直壁	表面荒れ		
	C	大間	205	199	路面	ひび割れ		
	C	大間			斜壁	表面荒れ		
	C	大間			直壁	表面荒れ		
	C	大間	202	200	路面	ひび割れ		
	C	大間			蓋・受枠　錆	少量発錆		
	C	大間			斜壁	表面荒れ		
	C	大間			直壁	表面荒れ		
	C	大間	195	202	蓋・受枠　錆	少量発錆		
	C	大間	221	217	蓋・受枠　錆	少量発錆		
	C	大間			斜壁	表面荒れ		
	C	大間			直壁	表面荒れ		
備　　考	**異状の程度の判定基準** Ｓ ： 不具合を生じている、または生じる可能性が高く、早急に実施を要求するもの Ａ ： 不具合の可能性があり、流下能力やマンホール機能に対する影響が大きく１年以内を目処に実施を要求するもの Ｂ ： 流下能力やマンホール機能に対する影響があり、今後２～３年以内に実施を要求するもの Ｃ ： 直ちに流下能力やマンホール機能に影響する可能性が低く、５年程度内に実施を要求するもの							

3) 修繕・改築計画

過年度に実施された汚水管渠劣化調査結果やストックマネジメント計画における、修繕・改築を推奨する施設は、管渠 4 箇所、人孔 2 箇所、人孔蓋 2 箇所が対象である。

表 5-5　令和 5 年度修繕推奨項目リスト

委託業務の名称	令和5年度　須崎市公共下水道管渠運営業務　修繕推奨項目					
提案月	異状程度	異状箇所		状　態	完了日	備　考
2017/12	A	管渠	5-0-1a S10～S9 VU300 56.0m	浸入水a 噴出している		止水:部分更生orスナップロック工法
2017/12	A	管渠	5-0-10 S30～S29 FRPM200 40.5m	浸入水a 噴出している		取付管止水:取付管接合部更生工法
2017/12	A	管渠	5-6-1a S125～S124 VU200 18.0m	浸入水a 噴出している		取付管止水:部分布設替え工法
2017/12	A	管渠	5-10-1 S175～S174 VU200 26.0m	破損a 軸方向クラック		部分布設替え工法
2017/12	A	人孔	S188 1号マンホール	浸入水a 噴出している		管口部止水:接着補強型止水工法
2017/12	A	人孔	S371 1号マンホール	浸入水a 噴出している		管口部止水:接着補強型止水工法
2017/12	A	人孔蓋	S148-5 小口径φ200直接蓋	開閉不可		改築:蓋取替
2017/12	A	人孔蓋	S148-10 小口径φ200直接蓋	開閉不可		改築:蓋取替
備　考	**異状の程度の判定基準** S ： 不具合を生じている、または生じる可能性が高く、早急に実施を要求するもの A ： 不具合の可能性があり、流下能力やマンホール機能に対する影響が大きく１年以内を目処に実施を要求するもの B ： 流下能力やマンホール機能に対する影響があり、今後２～３年以内に実施を要求するもの C ： 直ちに流下能力やマンホール機能に影響する可能性が低く、５年程度内に実施を要求するもの					

表 5-6　過年度の修繕履歴一覧（汚水管渠）

年度	修繕完了月	対象箇所	推奨内容
令和3年度	2021/10	S357 1号マンホール	管口部止水:接着補強型止水工法

5.2 雨水管渠

雨水管渠の維持管理については、当面は主に、市が重要な管渠として指定している重点路線の巡視・点検調査を優先的に行う。（次頁、位置図の赤色路線）

また、その他管渠（暗渠のみ、位置図の青色路線）についても、巡視・点検を行う。

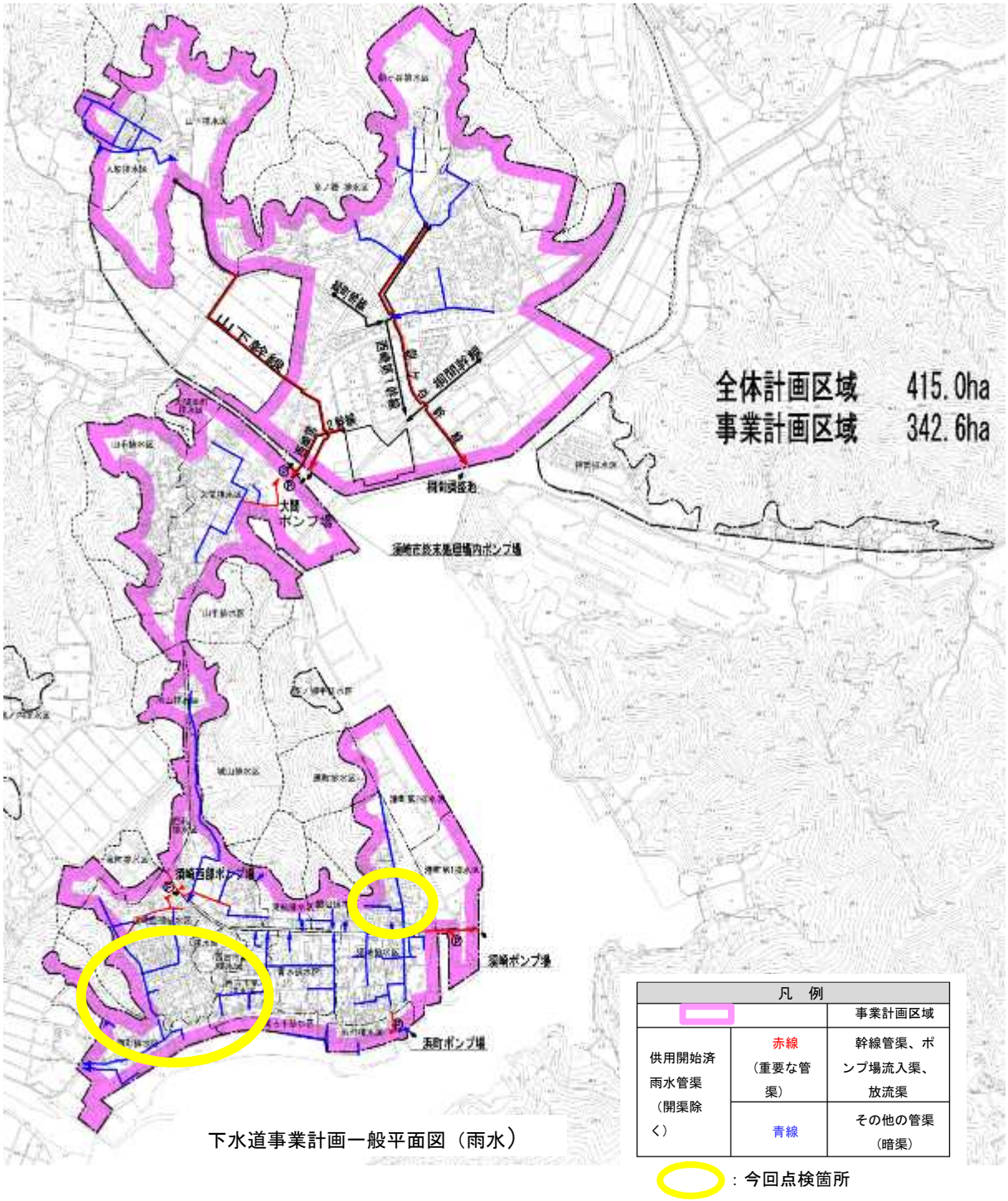
表 5-7　点検・調査の重点路線

排水区の名称	幹線、ポンプ施設の名称
多ノ郷排水区	西崎第 2 幹線
	終末処理場内ポンプ場の流入渠
大間排水区	大間ポンプ場の流入渠
山下排水区	山下幹線
朝ヶ谷排水区	朝ヶ谷幹線
須崎排水区	須崎ポンプ場の流入渠、放流渠
須崎西部排水区	須崎西部ポンプ場の流入渠
浜町排水区	浜町ポンプ場の流入渠

マンホール点検の判定基準（下水道維持管理指針（実務編）2014 年版）を以下に示す。

表 5-8 マンホール点検及び調査における判定基準

部位		異常項目	判定基準		
			Aランク	Bランク	Cランク
蓋及び路面	路面	路面状況	舗装版にｸﾗｯｸや欠けがあり、通行に支障を来たす	段差が生じている、擦付けが悪く水がたまる	蓋上部に水がたまる、道路との擦付けが悪い
		蓋違い，ガタツキ	開閉できない	ガタツキがある	—
	蓋受枠	蓋の破損・劣化	蓋・受け枠にｸﾗｯｸや欠けがある	—	—
		蓋の摩耗	表面がつるつるして通行に支障をきたす(車歩道部の蓋溝高さ2mm以下)	摩耗が大(車道部の蓋溝高さ:2～3mm以下)	摩耗が小(車道部の蓋溝高さ:2～3mm以上)
		蓋裏の錆	—	多量発錆	少量発錆
マンホール	調整部	調整部状況	調整モルタル及びリングが破損・欠落	調整リング及びリングのズレ	調整モルタル及びリングのずれ・クラック
	斜壁	腐食	鉄筋露出	骨材露出	表面の荒れ
		破損	欠落・陥没	全体に亀裂	軽微な破損（A・B以外）
		クラック	全体がクラック（人孔全周、幅5mm以上）	部分的にクラック（人孔半周、幅2～5mm）	軽微なクラック（幅2mm未満）
		隙間・ズレ	全体が脱却	一部が脱却	わずかの隙間・ズレ
		浸入水	噴き出ている状態	流れている状態	にじんでいる状態
		木根侵入	内径の50%以上	内径の10～50%	内径の10%未満
	直壁（管口部含む）	腐食	鉄筋露出(表面pH：1程度)	骨材露出(表面pH：3未満)	表面の荒れ(表面pH：3以上5以下)
		破損	欠落（陥没）	全体に亀裂	軽微な破損（A・B以外）
		クラック	全体がクラック（人孔全周、幅5mm以上）	部分的にクラック（人孔半周、幅2～5mm）	軽微なクラック（幅2mm未満）
		隙間・ズレ	全体が脱却	一部が脱却	わずかの隙間・ズレ
		本管突出・抜出し	100mm以上突出・抜出しがあり、流下に支障をきたす	50mm以上突出・抜出しがあり、流下に支障をきたす	50mm未満突出・抜出しがあり、流下に支障をきたす
		浸入水	噴き出ている状態	流れている状態	にじんでいる状態
		木根侵入	内径の50%以上	内径の10～50%	内径の10%未満
		たるみ	内径の3/4以上	内径の1/2～3/4	内径の1/2未満
	付帯物	足掛金物	欠落している	鉄筋が細くなっている	錆の発生
		ｲﾝﾊﾞｰﾄ	インバートがない	部分的な破損	—
	その他	臭気	常に発生	使用ピーク中に発生	季節的に発生
流下状況		油脂・ﾓﾙﾀﾙ・土砂等の堆積状況	管径の1/3以上の付着	管径の1/3～1/10の付着	管径の1/10未満の付着



下水道事業計画一般平面図（雨水）

図 5-4　全体位置図

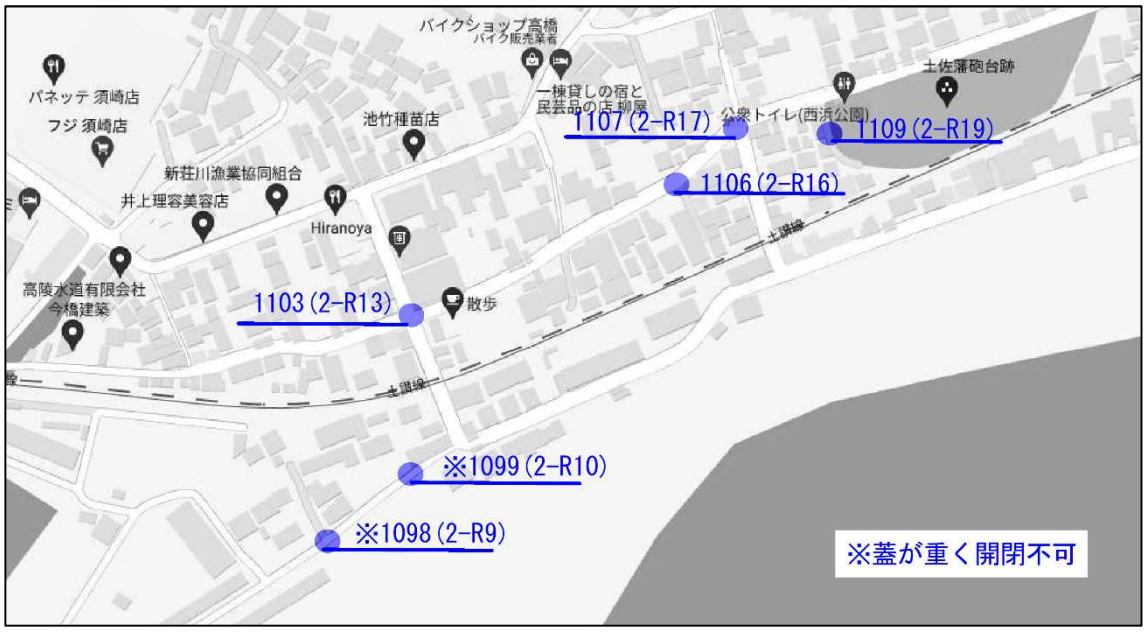
1) マンホール内目視確認業務（圧力マンホール以外）

今回の巡視・点検では、下記位置図に示す路線のマンホールの巡視を実施した。（位置図参照）

当月度の実施数量は、下表の通りである。

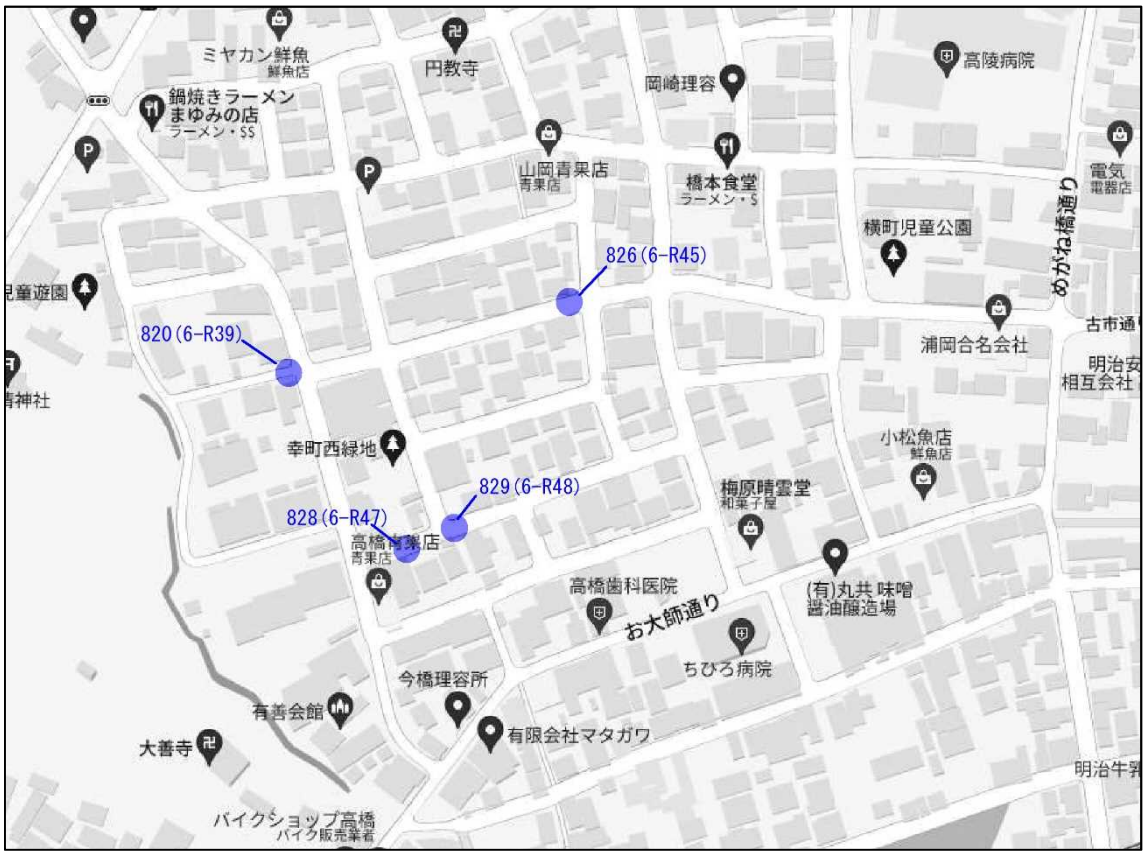
表 5-9 巡視・点検実施数量

実施日	人孔レコードID	下流管渠レコードID	人孔番号	排水区	管種・管径	下流管渠延長(m)	マンホール（箇所）	マンホール蓋（箇所）
2023/10/12	1099	870	2-R10	西町	φ500	49.80	1	1
	1098	869	2-R9	西町	φ500	57.70	1	1
	1103	873	2-R13	西町	φ600	47.50	1	1
	1106	876	2-R16	西町	φ600	64.00	1	1
	1107	878	2-R17	西町	φ500	35.90	1	1
	1109	880	2-R19	西町	φ300	16.80	1	1
2023/10/13	958	731	14-R8	青木	φ450	111.30	1	1
	820	1060	6-R39	須崎西部	φ500	5.49	1	1
	826	794	6-R45	須崎西部	φ300	37.30	1	1
	829	790	6-R48	須崎西部	φ600	22.07	1	1
	828	789	6-R47	須崎西部	φ600	19.85	1	1
	1055	673	18-R49	須崎	φ1100	43.28	1	1
	1056	674	18-R50	須崎	φ500	15.77	1	1
	1054	672	18-R48	須崎	φ1100	6.03	1	1
計						532.79	14	14



参考：Google map

図 5-5 対象マンホール位置（１）



参考：Google map

図 5-6 対象マンホール位置（２）

参考：Google map

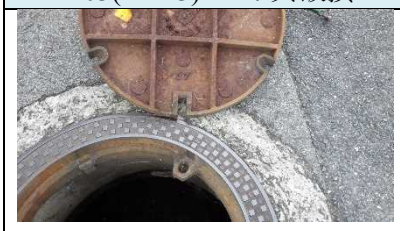
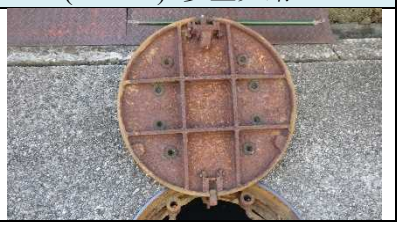
図 5-7 対象マンホール位置（３）

参考：Google map

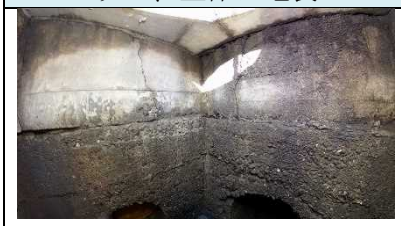
図 5-8 対象マンホール位置（４）

○巡視結果

以下に、巡視・点検の代表地点の写真を添付し、異状箇所について特記事項を記す。

<table>
<tr><th colspan="3">路面状況</th></tr>
<tr><td>826(6-R45)　ひび割れ</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td> </td><td></td><td></td></tr>
<tr><th colspan="3">マンホール蓋、受枠</th></tr>
<tr><td>1103(2-R13)　止め具破損</td><td>1103(2-R13)　蓋の摩耗</td><td>1107(2-R17)　多量発錆</td></tr>
<tr><td>  </td><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>820(6-R39)　多量発錆</td><td>826(6-R45)　多量発錆</td><td>829(6-R48)　蓋の摩耗、取手の破損</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>828(6-R47)　多量発錆</td><td>1055(18-R49)　多量発錆</td><td>1056(18-R50)　多量発錆</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td><td>  </td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">足掛金物</th></tr>
<tr><td>1103(2-R13)　腐食、劣化</td><td>826(6-R45)　欠落</td><td></td></tr>
<tr><td> </td><td> </td><td></td></tr>
</table>

マンホール本体		
1103(2-R13) 鉄筋露出	1103(2-R13) 骨材露出、全体に亀裂	1106(2-R16) 鉄筋露出
1106(2-R16) クラック、骨材露出	1107(2-R17) 骨材露出	1109(2-R19) 骨材露出
958(14-R8) 骨材露出、クラック、全体に亀裂	826(6-R45) ズレ、クラック全体に亀裂	826(6-R45) 部分的な欠落
		
828(6-R47) 部分的にクラック	1055(18-R49) 腐食	1056(18-R50) 鉄筋露出

管内		
1106(2-R16)　クラック No.7	828(6-R47)　クラック No.5	1055(18-R49)　継手ズレ No.3
1055(18-R49)　継手ズレ No.7		

○巡視結果による考察

今回点検を行った人孔の目視確認において、路面状況でひび割れ、蓋の発錆、人孔躯体の鉄筋露出やクラックなど経年劣化を確認した。今回巡視した箇所は、旧市街地であり、須崎市において施設の老朽化が特に著しい箇所でもあるため、修繕の必要があると想定される。

上記点検結果を踏まえて、今回点検目視調査した異状項目を下水道維持管理指針（実務編）2014 年版に基づく判定基準を参考にリストアップし、以下に添付する。

表 5-10 人孔異状項目リスト

委託業務の名称	令和5年度 須崎市公共下水道管渠(雨水)維持管理業務 人孔異状項目							
巡視・点検日	異状の程度	異状箇所			項　目	状　態	完了日	備　考
		排水区	ﾏﾝﾎｰﾙ RECID	下流管渠 RECID				
2023/10/12	A	西町	1103	873	蓋の損傷、劣化	止め具破損		
	C				蓋、受枠	少量発錆		
	B				蓋の摩耗	2～3mm以下		
	A				斜壁 腐食	鉄筋露出		
	C				斜壁 破損	軽微な破損		
	B				直壁 腐食	骨材露出		
	B				直壁 破損	全体に亀裂		
	C				直壁 隙間ズレ	わずかなズレ、隙間		
	B				足掛金物 腐食・劣化	鉄筋が細くなっている		
	A	西町	1106	876	斜壁 腐食	鉄筋露出		
	B				斜壁 クラック	部分的にクラック		
	B				直壁 腐食	骨材露出		
	C				直壁 クラック	軽微なクラック		
	C				管内 隙間ズレ No.4	わずかなズレ、隙間		
	A				管内 クラック No.7	鉛直方向、クラック		
	B	西町	1107	878	蓋、受枠	多量発錆		
	B				直壁 腐食	骨材露出		
	C				直壁 クラック	軽微なクラック		
	C				直壁 隙間ズレ	わずかなズレ、隙間		
	B	西町	1109	880	直壁 腐食	骨材露出		
	C	青木	958	731	蓋、受枠	少量発錆		
	B				直壁 腐食	骨材露出		
	B				直壁 クラック	部分的にクラック		
	B				直壁 破損	全体に亀裂		
2023/10/13	B	須崎西部	820	1060	蓋、受枠	多量発錆		
	C				調整部の状況	ズレ、クラック		
	C				斜壁 腐食	表面の荒れ		
	C				直壁 腐食	表面の荒れ		
	C				直壁 隙間ズレ	わずかなズレ、隙間		
	C				管内 隙間ズレ No.5	わずかなズレ、隙間		
	C	須崎西部	826	794	路面状況 損傷	ひび割れ		
	B				蓋、受枠	多量発錆		
	A				調整部の状況	ズレ、クラック		
	B				斜壁 破損	全体に亀裂		
	B				斜壁 クラック	部分的にクラック		
	C				直壁 腐食	表面の荒れ		
	B				直壁 クラック	部分的にクラック		
	C				直壁 隙間ズレ	わずかなズレ、隙間		
	A				足掛金物 腐食・劣化	欠落		
	B				インバート状況	部分的な欠落		
	A				頂板	欠損		
	A				頂板	クラック		
	B	須崎西部	829	790	蓋の摩耗	2～3mm以下		
	B				蓋、受枠	多量発錆		
	C				斜壁 腐食	表面の荒れ		
	B				直壁 腐食	表面の荒れ		
	C				直壁 破損	軽微な破損		
	A				蓋の取手	取手破損		
	A				管内 破損 No.1	破損		
	B	須崎西部	828	789	蓋の摩耗	2～3mm以下		
	B				蓋、受枠	多量発錆		
	C				調整部の状況	ズレ、クラック		
	C				斜壁 腐食	表面の荒れ		
	C				直壁 腐食	表面の荒れ		
	B				直壁 クラック	部分的にクラック		
	C				直壁 隙間ズレ	わずかなズレ、隙間		
	A				管内 クラック No.5	クラック		
	A				蓋の取手	取手破損		
	B	須崎	1055	673	蓋、受枠	多量発錆		
	C				斜壁 腐食	表面の荒れ		
	B				直壁 腐食	骨材露出		
	A				管内 隙間ズレ No.3	継手ズレ		
	A				管内 隙間ズレ No.7	継手ズレ		
	B	須崎	1056	674	蓋、受枠	多量発錆		
	A				直壁 腐食	鉄筋露出		鉄筋爆裂、壁骨材露出、住民苦情あり
備　考	**異状の程度の判定基準** Ｓ ： 不具合を生じている、または生じる可能性が高く、早急に実施を要求するもの Ａ ： 不具合の可能性があり、流下能力やマンホール機能に対する影響が大きく１年以内を目処に実施を要求するもの Ｂ ： 流下能力やマンホール機能に対する影響があり、今後２～３年以内に実施を要求するもの Ｃ ： 直ちに流下能力やマンホール機能に影響する可能性が低く、５年程度内に実施を要求するもの							

2) 修繕・改築計画

令和 2 年度に実施されたストックマネジメント計画に係る雨水管渠劣化調査及び CPS による巡視・点検による管路施設における修繕・改築を推奨する施設は、管渠 9 箇所、人孔 4 箇所、人孔蓋 11 箇所（津波被災リスクの考え方による）が対象である。但し、現状での調査結果が一部のみであるため、全数把握の上、総合的なリスクが高い施設を優先する必要がある。

表 5-11 令和 5 年度修繕推奨項目リスト

委託業務の名称	令和5年度　須崎市公共下水道管渠(雨水)維持管理業務　修繕推奨項目					
提案月	異状程度	異状箇所		状　態	完了日	備　考
2021/3	A	管渠	1121 14-R15～14-R14 CP450 42.2m	破損a 軸方向クラック		管渠改築:管更生工法
2021/3	A	管渠	658 18-R10～18-R9 HP1000 38.4m	浸入水a 噴出している		本管止水:部更生orスナップロック工法
2021/3	A	管渠	659 18-R11～18-R10 HP1000 41.3m	浸入水a 噴出している		本管止水:接着補強型止水工法
2021/3	A	管渠	660 18-R12～18-R11 HP1000 41.5m	浸入水a 噴出している		本管止水:接着補強型止水工法
2021/3	A	管渠	681 18-R27～18-R26 HP1100 49.4m	浸入水a 噴出している		本管止水:スナップロック工法
2021/3	A	管渠	682 18-R28～18-R27 HP1000 44.0m	浸入水a 噴出している		本管止水:部更生orスナップロック工法
2021/3	A	管渠	799 6-R23～6-R22 HP800 49.9m	浸入水a 噴出している		本管止水:部更生工法
2021/3	A	人孔	6-R3 現場打ち2号マンホール	浸入水a 噴出している		本体止水:接着補強型止水工法
2021/3	A	人孔	6-R21 現場打ち3号マンホール	破損a 床板欠落		マンホール蓋+上部ブロック取替
2021/3	A	人孔	6-R85 現場打ち3号マンホール	破損a 床板欠落		マンホール蓋+上部ブロック取替
2021/3	A	人孔	6-R88 現場打ち2号マンホール	破損a 床板欠落		マンホール蓋+上部ブロック取替
2021/3	A	人孔蓋	18-R1 φ600 鉄蓋	津波被災リスク高		改築:蓋取替(津波リスク要検討)
2021/3	A	人孔蓋	18-R3 φ600 鉄蓋	津波被災リスク高		改築:蓋取替(津波リスク要検討)
2021/3	A	人孔蓋	18-R21 φ600 舗装充填型鉄蓋	津波被災リスク高		改築:蓋取替(津波リスク要検討)
2021/3	A	人孔蓋	18-R22 φ600 鉄蓋	津波被災リスク高		改築:蓋取替(津波リスク要検討)
2021/3	A	人孔蓋	18-R37 φ600 鉄蓋	津波被災リスク高		改築:蓋取替(津波リスク要検討)
2021/3	A	人孔蓋	18-R38 φ600 鉄蓋	津波被災リスク高		改築:蓋取替(津波リスク要検討)
2021/3	A	人孔蓋	18-R39 φ600 鉄蓋	津波被災リスク高		改築:蓋取替(津波リスク要検討)
2021/3	A	人孔蓋	6-R47 φ600 鉄蓋	津波被災リスク高		改築:蓋取替(津波リスク要検討)
2021/3	A	人孔蓋	25-R8 φ600 鉄蓋	津波被災リスク高		改築:蓋取替(津波リスク要検討)
2021/3	A	人孔蓋	25-R9 φ600 鉄蓋	津波被災リスク高		改築:蓋取替(津波リスク要検討)
2021/3	A	人孔蓋	25-R27 φ600 集水桝蓋	津波被災リスク高		改築:蓋取替(津波リスク要検討)
2023/11	A	人孔蓋	6-R39 φ600 鉄蓋	多量発錆		改築:蓋取替
2023/11	S	人孔	6-R45　現場打マンホール900×900	頂板、直壁躯体、取付管クラック		クラック補修、断面修復
2023/11	A	人孔	18-R50 現場打マンホール1300×3000	頂板鉄筋破損、欠落		断面修復、鉄筋修復
備　考	**異状の程度の判定基準** S ： 不具合を生じている、または生じる可能性が高く、早急に実施を要求するもの A ： 不具合の可能性があり、流下能力やマンホール機能に対する影響が大きく１年以内を目処に実施を要求するもの B ： 流下能力やマンホール機能に対する影響があり、今後２～３年以内に実施を要求するもの C ： 直ちに流下能力やマンホール機能に影響する可能性が低く、５年程度内に実施を要求するもの					

表 5-12 過年度の修繕履歴一覧（雨水管渠）

年度	修繕完了月	対象箇所	推奨内容
令和4年度	2022/8	須崎西部排水区　6-R83人孔	須崎西部ポンプ場流入渠　浸入水
	2022/8	大間本町地内	雨水排水路流入管　破損その1
	2022/8	大間本町地内	雨水排水路流入管　破損その2
	2022/10	須崎西部排水区　6-R103人孔	陶管　破損
	2022/10	須崎排水区　18-R61人孔	圧力マンホール蓋　表面摩耗
	2022/10	須崎排水区　18-R2人孔	マンホール蓋　表面摩耗
	2022/11	糺町鳥越線 雨水管渠	BOX2000×1500　破損

5.3 終末処理場

1) 流入水量の状況

10 月の流入水量は下図の通りである。平均値が 366m³/日、最大値が 397m³/日であった。

10 月の降水量は月合計値が 28㎜ と過去 5 年間で最低値であった。このため、月間流入水量も最低の記録となり、1 日の流入水量も 400m³/日弱で上下動の少ない安定した水量を記録した。

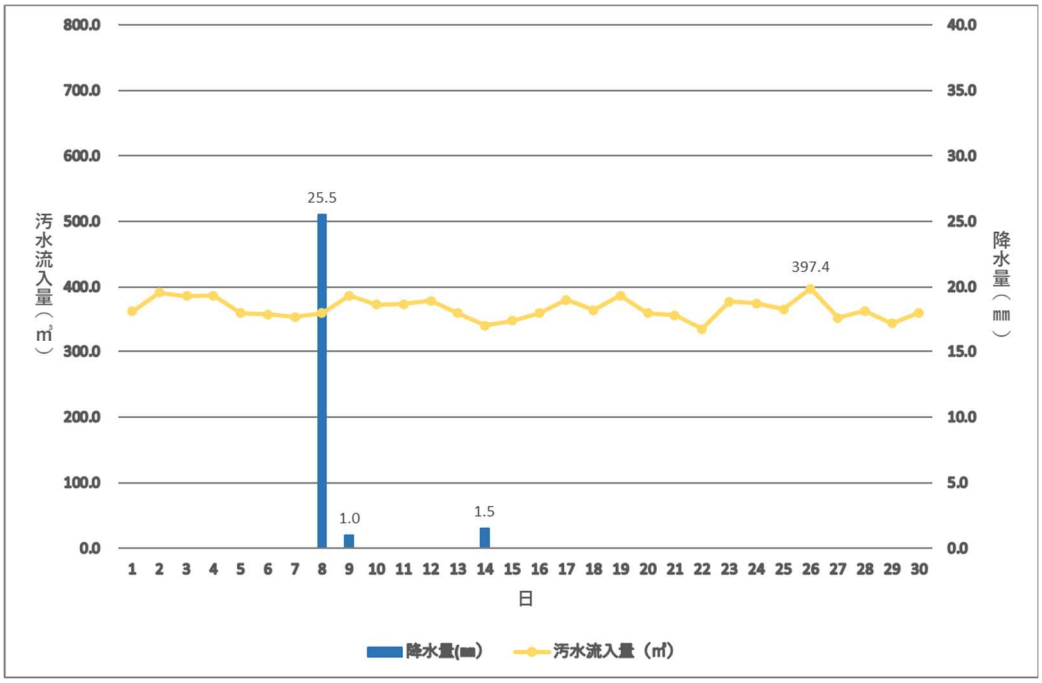


図 5-9　須崎市終末処理場の流入水量（R5 年 10 月）

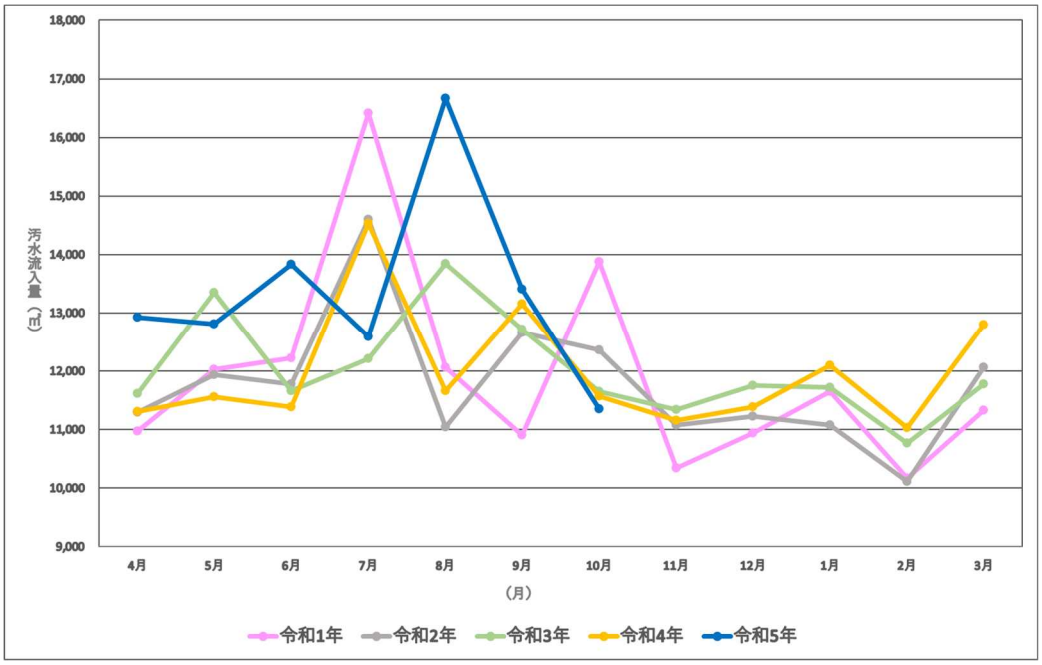


図 5-10　須崎市終末処理場の月別流入水量推移

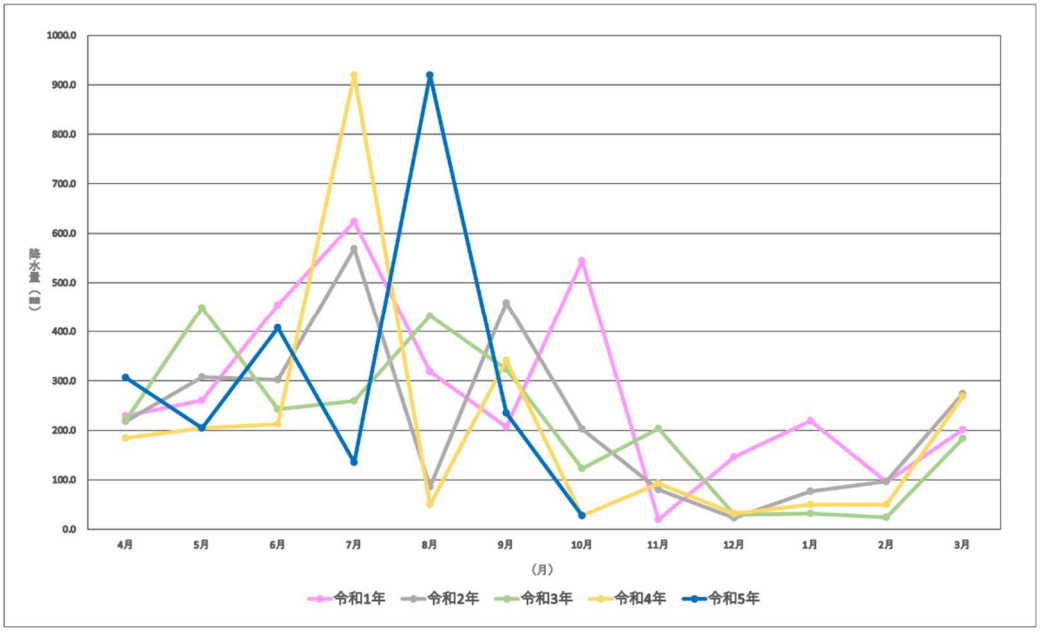


図 5-11　須崎地区月間降水量の推移（気象庁データ）

2)　放流水質の状況

日常水質試験結果は下表の通りであり、全項目において目標値を満足していた。

表 5-13　施設管理のための日常水質試験結果

水質項目	単位	水質試験結果	放流目標値
pH	—	6.9	5.0 以上 9.0 以下
BOD	ｍｇ／L	1.2	15
SS	ｍｇ／L	1.3	30
大腸菌群数	個／㎤	0	3,000 以下

3) 維持管理業務について

10 月に行った運転管理の実績表を添付した。

表 5-14　終末処理場の運転管理実績表（R5 年 10 月）

令和　5　年　10　月　運転管理実施表

	日・曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	項目	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
機器運転	機器点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	運転日報	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	汚泥処理・脱水機運転			●			●				●			●				●			●				●			●				●
	脱水ケーキ搬出																															●
電気点検	電気点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	汚水ﾏﾝﾎｰﾙ室ﾌﾗｯｼﾝｸﾞ非常通報装置点検					●							●						●								●					
機械	点検/グリスアップ/清掃 ○ 処理棟各機器 □ 補機室各機器				●								●						●							●					
	スクリーンユニット(スカラベ)点検		●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●
	汚水スクリーン点検 し渣脱水機点検												●						●													
	DHSヘッダー管分解清掃		●							●				●			●							●				●		●	
	DHSろ床散水、清掃																															
	自動分析計 分解洗浄　○ DHSろ床処理水 □ 生物膜ろ過処理		●							●			■				●							●			■			●	
	○ DHSろ床排風ダクト清掃 □ 生物ろ過膜槽ｱﾝｽﾗｻｲﾄ投入												●								●						●				
	DHSろ床排気ﾌｧﾝ除塵ｽｸﾘｰﾝ点検		●							●							●							●						●	
	固形塩素注入器　点検、補充	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
水質分析	平常試験				●							●														●					
	中試験																		●													
	濃縮脱水試験　（月に1回、中試験と重複しない）													●																		
備考	・濃縮脱水試験は、月毎に1度実施する。供給汚泥濃度、脱水ケーキ含水率は、脱水時毎回実施。 ・DHSろ床散水ヘッダー管分解清掃は、週2回、適宜汚れ具合で実施する。																															

※1：10 月の脱水ケーキ発生量は 2,338 kgで、住友大阪セメントへ 5,760 kg搬出した。

※2：その他、脱水機点検、処理棟各機器点検等を実施（別途 10 月作業実施表参照）

4) 機器の点検結果による考察

・10 月 26 日に塩素混和池の浚渫、清掃を実施した。夏場の運転状況が良好だった影響からか、槽内沈殿汚泥は前回 5 月に実施した時よりも大幅に少なくなっていた。

・2 階中央操作室空調機（エアコン）は漏電が発生し使用不可となっているが、故障原因がコンプレッサー保護用ヒーターの絶縁不良であることが判明し部品交換の準備中である。今回の不良箇所以外にも腐食や異音が発生しているが、これらの部品はメーカー廃番のため交換不可となっている。全体的な老朽化が進行しており、機器全体の更新が望まれる。

・土壌脱臭床の活性炭量が摩滅等による減少がみられるため、補充や入替が望まれる。

・汚泥分析で使用しているマッフル炉に老朽化の兆候があり、突如使用不能となった場合、重要項目の分析ができなくなる恐れがある。新規機器の調達には半年程度が見込まれることから、故障に至る前の更新を推奨する。

・No.１・２ろ過水ポンプのグランド部から水漏れが発生している。メーカーによる点検、補修を推奨する。

上記点検結果を踏まえ、修繕推奨機器リストを添付した。

表 5-15　令和５年度修繕推奨機器リスト（終末処理場）

委託業務の名称	令和５年度　須崎市終末処理場運転維持管理等包括的民間委託業務　修繕推奨項目						２０２３年１１月２４日改定	1/1
提案月	件数	緊急度	対象箇所	推　奨　内　容	概算金額	完了日	備　　考	
2023/09	1	A	中央操作室エアコン	修理			修理実施予定	
2023/04	2	B	土壌脱臭床	活性炭補充、一部入替				
2021/02	3	B	No.１、２ろ過水ポンプ	本体更新　電動機整備			実施は２台のうち１台	
2023/04	4	C	分析用マッフル炉	更新			更新予定	
2023/04	5	－	No.1-1汚水ポンプ	引揚点検・分解整備		2023/05/09	（5-1）No.1-1汚水ポンプ引揚点検	
2023/05	6	－	No.1-1汚水ポンプ	分解整備		2023/07/27	（5-1）修繕での引揚品	
備　考	**緊急度の判定基準** Ｓ：不具合を生じている、または生じる可能性が高く代替機器等がないため早急に実施を要求するもの Ａ：不具合の可能性があり、水処理・汚水処理に対する影響が大きく１年以内を目処に実施を要求するもの Ｂ：水処理・汚泥処理に対する影響があり、今後２～３年以内に実施を要求するもの Ｃ：直ちに水処理・汚泥処理に影響する可能性が低く、５年程度内に実施を要求するもの							

表 5-16　過年度の修繕履歴一覧（終末処理場）

年度	修繕完了月	対象箇所	推　奨　内　容
令和2年度	2020/9	照明配電盤 電カメーター	交換
	2020/11	土壌脱臭ファン	分解整備
	2021/2	ＤＨＳ散水装置アクリル蓋	購入
	2021/3	Ｎｏ．２床排水ポンプ	更新（工事）
令和3年度	2021/4	Ｎｏ．１初沈汚泥引抜ポンプ	部品交換
	2021/7	主ﾎﾟﾝﾌﾟ設備他ｼｰｹﾝｻｰﾊﾞｯﾃﾘｰ	交換
	2021/8	ポータブルＤＯ計用電極	交換用電極購入
	2021/8	Ｎｏ．１－２汚水ポンプ	引揚点検、予備ポンプとの入替
	2021/8	主ポンプ設備シーケンサー	点検およびCPU基板入替
	2021/9	水処理設備シーケンサー	点検およびCPU基板入替
	2021/10	管理棟消防設備	受信機用バッテリー取替、消火器更新
	2021/10	DHS無停電電源装置	バッテリー、ファン交換
	2021/11	Ｎｏ．２初沈汚泥引抜ポンプ	分解整備
	2021/11	終末処理場内	除草および立ち木の伐採
令和4年度	2022/6	電気室配電盤	電力メーター（主変圧器１次・汚泥）交換
	2022/7	精密はかり（分析用）	更新
	2022/9	ＤＯ計センサー	センサー部品交換
	2022/10	ＤＯ計（本体部）	交換
	2022/10	汚泥供給ポンプ	分解整備

5.4 クリーンセンター横浪

1) 浸出水処理施設の処理水量の状況

10 月の処理水量は下図の通りである。（日平均値：104m^3/日、日最大値：181m^3/日）

この 2 ヶ月は、水処理施設更新工事等の影響により処理水量が少ない状態が続いたが、10 月の処理水量は平年並みに戻っている。

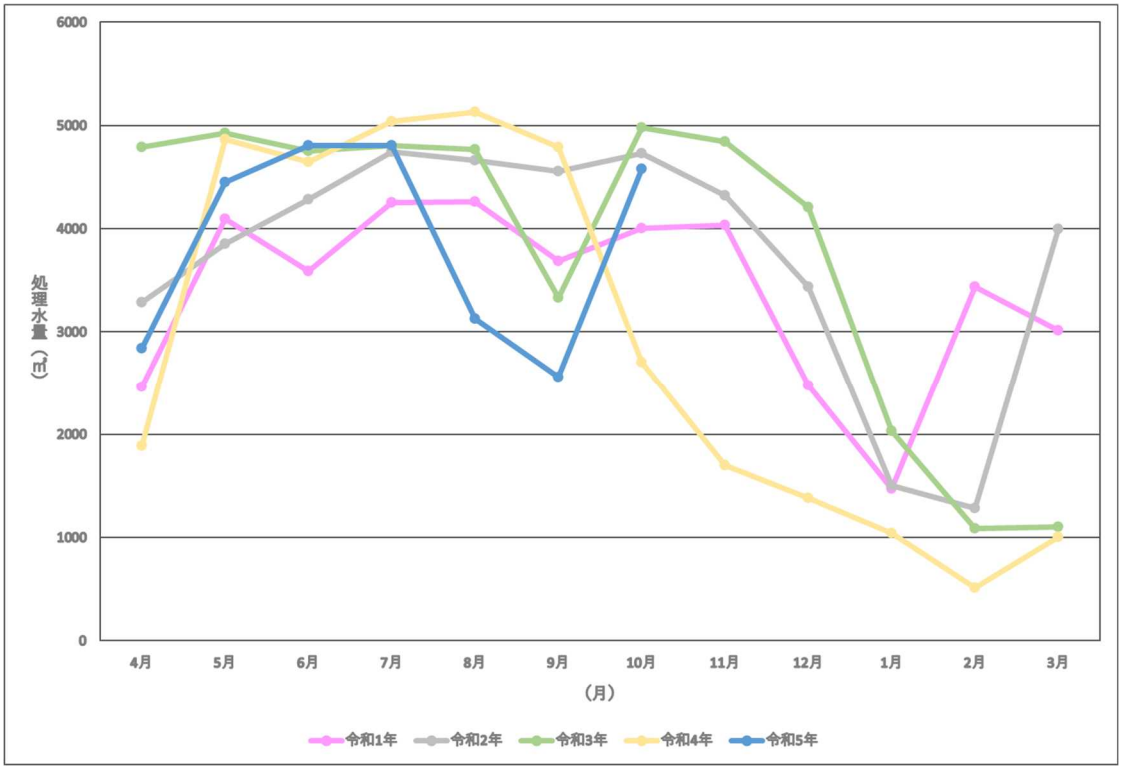


図 5-12　浸出水処理施設の処理水量の推移

2) 浸出水処理施設の放流水質の状況

毎月 1 回の水質検査結果は下表の通りであり、全項目について基準値を満足している。

表 5-17　浸出水処理施設の放流水質の試験結果

水質項目	単位	水質試験結果	排水基準値
pH	－	7.8	5.8 以上 8.6 以下
BOD	ｍｇ／Ｌ	＜0.5	20ｍｇ／Ｌ以下
COD	ｍｇ／Ｌ	2.8	20ｍｇ／Ｌ以下
SS	ｍｇ／Ｌ	＜1	20ｍｇ／Ｌ以下
T-N	ｍｇ／Ｌ	6.1	20ｍｇ／Ｌ以下

※同時に原水のカルシウム、地下水の塩化物イオン濃度も測定しており、問題の無い値となっている。

3) リサイクルプラザの維持管理業務について

10 月に行った運転管理実績表を添付した。

表 5-18　リサイクルプラザ 運転管理実績表（R5 年 10 月）

令和　5　年　10　月　　運転管理実施表

	日・曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	項目	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
機器運転	運転日報		●	●	●	●	●				●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●
	機器始業前点検		●	●	●	●	●				●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●
	破砕機運転		●	●	●	●	●				●	●	●	●					●	●	●			●	●	●	●	●			●	●
	不燃ごみ処理		●	●	●	●	●				●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●
	資源ごみ(瓶・缶・PET)処理		●	●	●	●	●				●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●
埋立	敷き均し、転圧																															
	覆土受入																															
水質	水質分析採水																			●												
その他	場内外清掃		●	●	●	●	●				●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●
	場内外除草																															
	未取集ごみ回収										●							●								●						

4) リサイクルプラザの点検結果による考察

（10 月 2 日に発生した火災について）

・10 月 2 日に破砕機本体の上部にある集塵ダクト部で火災が発生した。発見時は集塵ダクト部から発煙しており、現場職員による初期消火や消防による消火活動により早期に鎮火し、損傷は少ない範囲でおさまった。なお、破砕機は各部の点検を行い 10 月 18 日に運転再開している。

・火災原因としては、消防の現場検証から引用すると以下の通り。

「破砕機本体でのリチウムイオン電池等の突発的な爆発、発火により、上部ダクト部に付着していた粉塵等に火種が飛び火したのではないかと推測される。消防署としては、今後の対策として、引き続き市民へのゴミ出し注意を呼び掛けるとともに、飛び火が想定される部分の定期的な清掃等を行って頂くことをお願いする。」

・破砕機は設置から約 20 年が経過して各部に老朽化が目立ち、来年度以降、更新を行う予定となっている。それまで 1 年以上の期間を要するため、再発防止策として以下のように考えられる。

・破砕機周辺の各部が更新前の末期状態であり、引火し易い状態に陥っていることが懸念される。今回の発災部は点検口や開口部が無く、通常の点検では内部確認が出来ない場所となっている。このため、引火の恐れがあるダクト部全体の点検・清掃や、火災後に動作不良が生じたプラント用水ポンプ設備（消火用水としての機能を持つポンプ設備）のメーカー点検、修繕が望まれる。

・通常、破砕機内部における不燃物の破砕時には、小爆発やごみの発熱が生じており、老朽化している機器のため今後も監視強化が必要となる。このため、点検等の死角となっている破砕機室上部等に監視カメラの設置を推奨する。
・破砕機メーカーからのアドバイスとして、破砕機投入前や内部への散水時間を長めにした方が効果がある可能性があるとのこと。ただし、散水する水量が多いと破砕機の排出口での詰まりやコンベア部の錆による破損等の恐れがある。機械の運転状況も確認しながら散水量をなるべく多くする。
・引き続き不燃物を破砕機に投入する前に、リチウムイオン電池等を含む爆発物の分別作業を徹底する。
・破砕機の更新を担うメーカーには、過去の火災事故の原因等も考慮の上、事故が生じないような機械設備の設置検討をお願いする。
(その他)
・10 月 16 日にプラント用水の水槽及び給水ユニットの制御盤上の異常が発生した。その後、メーカーにより水槽内の電極棒や端子の点検確認が行われ異常が無いことの報告があった。
・雑用コンプレッサーのオイル交換及びフィルター部の清掃を行った。
・10 月 30 日に破砕機室上部照明交換修理と自動給油装置オイルフィルター交換を実施した。

これまでの点検結果を踏まえ、修繕推奨機器リストを添付した。

表 5-19　令和５年度修繕推奨機器リスト（リサイクルプラザ）

委託業務の名称	令和５年度　須崎市クリーンセンター横浪運転維持管理等包括的民間委託業務 リサイクルプラザ　修繕推奨項目			２０２３年１１月２４日改定		
提案月	件数	緊急度	対象箇所	推　奨　内　容	完了日	備　　考
2022/01	1	S	不燃ごみ供給コンベヤ	チェーン、エプロン更新		老朽化（腐食、穴あき等）
2022/01	2	S	低圧配電設備（低圧動力盤）	インバーター更新		不燃物供給コンベヤのインバーターが旧式
2022/01	3	S	スチール缶圧縮機動力操作盤	PLC更新		PLCが旧型
2022/01	4	S	アルミ缶圧縮機動力操作盤	PLC更新		PLCが旧型
2021/03	5	S	給水ポンプユニット	更新		老朽化（要後継機選定）
2020/12	6	A	資源受入れC/V減速機	更新		油漏れ、異音
2020/12	7	A	手選別受入れC/V減速機	更新		油漏れ、異音
2022/01	8	A	選別スクリーン	スクリーン清掃、入出口、パッチ当補修		老朽化（腐食、穴あき等）
2022/01	9	A	スチール缶圧縮機	シリンダーオーバーホール等		シリンダ油じみ、塗装剥離等
2022/01	10	A	アルミ缶圧縮機	シリンダーオーバーホール等		シュート腐食、穴あき、油じみ等
2022/01	11	A	PETボトル減容機	油圧装置、押込装置、駆動部更新		老朽化（ケーシング、ベアリング腐食等）
2022/01	12	A	地下床排ポンプ吐出管	配管サポート追加		吐出管サポート不足
2022/01	13	A	不燃ごみ用磁選機	ベルト更新		ベルト偏芯、ローラー軸等発錆
2022/01	14	A	不燃ごみ用アルミ選別機	Ｖベルト、プーリー更新		Ｖベルト端部破損、プーリー摩耗等
2022/01	15	A	カン類用磁選機	ベルト更新		ベルト偏芯、表面クラック等
2022/01	16	A	手選別コンベヤ	ベルト、アルミシュート更新等		ベルト偏芯、減速機駆動音異常等
2022/01	17	A	不燃物貯留バンカ	シュート、集塵ダクト更新等		腐食、穴あき、シリンダー支持部老朽化等
2022/01	18	A	地下資源ゴミ供給コンベヤピット	ダクト吸込口更新		吸込ダクト入口腐食
2022/01	19	A	2Ｆ選別室バグフィルター	ダクトエルボ更新		吐出ダクトエルボ発錆
2022/01	20	A	処理水・汚泥系	配管サポート追加		床排水ポンプ配管サポート不足
2022/01	21	B	その他プラスチック減容機	軸受け更新		回転軸からの異音
2022/01	22	B	不燃ゴミ受入ホッパ	腐食部補修、塗装		ホッパ側面下端腐食、穴あき等
2022/01	23	B	資源ゴミ供給コンベヤ	底面補修、シュート部更新		腐食、穴あき等
2022/01	24	B	資源ごみ受入ホッパ	腐食部補修、塗装		内面ゴムライニング破損等
2022/01	25	B	破砕機	歩廊チェッカープレート、~~溶接ナット取替~~		歩廊発錆、歪み等 ﾅｯﾄ取替2022/11/29
2022/01	26	B	No.2破砕物コンベヤ	底面パネル更新、点検口パッキン設置		腐食、穴あき等
2022/01	27	B	バグフィルタ	外面塗装補修		天板腐食等
2022/01	28	B	No.1・2プラント揚水ポンプ	ユニット更新		接続短管腐食、ケーシング発錆等
備　　考	**緊急度の判定基準** Ｓ　：　不具合を生じている、または生じる可能性が高く代替機器等がないため早急に実施を要求するもの Ａ　：　不具合の可能性があり、水処理・汚水処理に対する影響が大きく１年以内を目処に実施を要求するもの Ｂ　：　水処理・汚泥処理に対する影響があり、今後２～３年以内に実施を要求するもの Ｃ　：　直ちに水処理・汚泥処理に影響する可能性が低く、５年程度内に実施を要求するもの					

表 5-20　過年度の修繕履歴一覧（リサイクルプラザ）

年度	修繕完了月	対象箇所	推　奨　内　容
令和4年度	2022/10	空気圧縮機（コンプレッサー）	動作不良による更新
	2022/10	エアドライヤー	〃
	2022/11	1Ｆ東側建物シャッター	更新（防犯、防風上）
	2023/3	選別機	脱落部スラストローラー更新

5) 浸出水処理施設の維持管理業務について

10 月に行った運転管理の実績表を添付した。

表 5-21　浸出水処理施設 運転管理実績表（R5 年 10 月）

令和　5　年　10　月　　運転管理実施表

	日・曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	項目	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
機器運転	運転日誌		●			●	●			●			●	●			●		●		●			●	●	●		●			●	
	機器点検日誌		●							●							●									●					●	
	第一モニタリング井戸ポンプ 自動運転 開始		●							●							●									●					●	
	第一モニタリング井戸ポンプ 自動運転 停止						●							●							●							●				
	第一凝集沈殿槽汚泥引抜ポンプ 手動運転(5分)		●							●							●									●					●	
	機器切替																									●						
	非常放流各弁開閉(遮断弁・仕切弁・調整槽上部		●																													
	固形塩素注入器　点検、補充		●				●			●				●			●				●			●				●			●	
	凝集助剤溶解装置 ストレーナ分解清掃					●																									●	
水質分析	水質分析週報													●																		
	水質分析月報																							●								
	pH計点検						●														●											
	第一混和槽他pH計洗浄		●			●				●			●	●			●									●		●			●	
その他	遮水シート確認		●			●	●			●			●	●			●		●		●			●	●	●		●			●	
	汚泥貯留槽水抜き					●													●													
	場内外清掃		●			●				●			●	●			●				●			●	●	●		●			●	
	場内外草刈																		●													

6) 浸出水処理施設の点検結果による考察

・10 月は機械故障等のトラブルもなく、若干処理量が減少した月末の数日を除いては連日 140～150m^3/ｄの処理が継続できた。なお、10 月 2 日に発生した火災の際の再利用水使用量として 24m^3を計上している。

・10 月 24 日に No.2 第一調整槽撹拌機更新工事が実施された。これにより、第一調整槽の撹拌が正規 2 台で行われる状態に復旧し、槽内の土砂堆積に対する懸念が低下した。しかし、令和 2 年 11 月に故障した No.1 第三調整槽水中撹拌機がそのままの状態であることから、早期復旧が望まれる。

・給排水設備プラント用水給水ユニット受水槽は、以前の水漏れ箇所は FRP 補修により水漏れ自体は止まっているが、槽全体において劣化が進行しているため、早急な更新が望まれる。

・No.1 凝集剤注入ポンプは機器全体の老朽化が確認されている。これまで消耗部品の交換歴はあるが、機器更新はされていない。現状、No.2 のポンプは正常に作動しているが、突発的な故障に対する切替運転が可能なように故障に至る前の更新を推奨する。

・原水ポンプは、現在 No.1 が故障により取外した状態となっている。10 月に発生した故障は、1 台のポンプ連続運転が原因と見られるため、2 台交互運転の運用が推奨される。なお、更新の際には摩耗、劣化が懸念される着脱装置の同時更新が望まれる。

・原水計量槽の劣化進行及び前後配管のスケール付着が確認された。水の流れが妨げられ、計量槽内の水位上昇が確認されており、水処理量の調整に係る重要設備であることから早期更新が望まれる。
・日報作成装置 UPS（無停電電源装置）はバッテリー寿命と判断され、停電発生時の不具合回避のため早急なバッテリー交換を推奨する。ただし、使用開始から 10 年が経過していることから、本体を含めた交換が妥当であると判断される。
・No.1 第一凝集沈殿槽汚泥引抜ポンプの異音が確認されている。ローター、ステーター他必要部品の交換を含む早期の分解整備の実施が望まれる。
・No.1、2 返送ポンプの仕切弁が損傷し、スムーズに作動出来なくなっているため、交換を推奨する。
・No.2 凝集剤注入ポンプは運転頻度が高く、これまでの運転状況から各部の摩耗、劣化が懸念される。故障発生等により運転停止となった場合には、水処理に影響を及ぼす可能性があるため更新を推奨する。
・場内 6 か所の現場ｐＨ計（表示部・変換器）の老朽化が顕著となっており、これまで一部の部品を除き更新履歴が無く、適正な水処理を行う上で重要な機器であるため、順次更新していくことを推奨する。
・第一工程における撹拌機、掻寄機の減速機が機械寿命を経過していると考えられる。これらの機器が故障すると水処理ができなくなるため、計画的更新が望まれる。
・No.1～3 の曝気ブロワは整備履歴はあるものの、ハウジングやローター等摩耗の進行が推測され、更新時期となっていると判断されるため、順次更新していくことを推奨する。
・No.1 移送ポンプは前回更新より 8 年以上が経過している。水処理に係る重要な機器であることから、故障に至る前の更新が推奨される。

上記点検結果を踏まえ、修繕推奨機器リストを作成した。

表 5-22　令和５年度修繕推奨機器リスト（浸出水処理施設）

委託業務の名称	令和５年度　須崎市クリーンセンター横浪運転維持管理等包括的民間委託業務　修繕推奨項目			２０２３年１１月２４日改定	1/1
提案月	件数	緊急度	対象箇所	推　奨　内　容	完了日	備　　考
2020/05	1	S	日報作成装置	不良箇所修理（システム更新）		更新工事予定
2020/11	2	A	給水ユニット受水槽	更新		
2022/02	3	A	No. １第三調整槽水中撹拌機	更新		
2021/11	4	A	無停電電源装置	更新		１.日報作成装置更新工事に含む
2023/08	5	A	No.1第一凝沈汚泥引抜ポンプ	分解整備		
2022/11	6	B	Ｎｏ．１原水ポンプ	更新（設置）		
2022/11	7	B	原水ポンプ着脱装置	更新		２台分
2023/11	8	B	第一各槽撹拌機減速機	更新		混和槽・凝集槽・中和槽
2023/11	9	B	第一凝沈掻寄機減速機	更新		
2022/10	10	B	現場ｐＨ計	更新		表示部・変換器　計６箇所
2023/11	11	B	No. １～３曝気ブロワ	更新		
2023/09	12	B	Ｎｏ．１凝集剤注入ポンプ	更新		
2023/06	13	B	原水計量槽、配管	更新		
2020/05	14	B	No. ２凝集助剤注入ポンプ	更新		
2023/11	15	B	No.1移送ポンプ	更新		
2020/05	16	B	No. １・２返送ポンプ仕切弁	交換		
2020/06	17	－	遮水シート漏水検知システム	機能診断（機器作動状況点検）	2023/04/18	更新工事完了（トサトーヨー）
2023/04	18	－	床排水ポンプ	更新	2023/07/20	更新工事完了(須崎建工)
2023/04	19	－	薬品注入配管	更新	2023/09/28	更新工事完了（四国ポンプセンター）
2023/04	20	－	No. ２第一調整槽水中撹拌機	更新	2023/10/24	更新工事完了(愛機工業)
備　　考	**緊急度の判定基準** Ｓ　：　不具合を生じている、または生じる可能性が高く代替機器等がないため早急に実施を要求するもの Ａ　：　不具合の可能性があり、水処理・汚水処理に対する影響が大きく１年以内を目処に実施を要求するもの Ｂ　：　水処理・汚泥処理に対する影響があり、今後２～３年以内に実施を要求するもの Ｃ　：　直ちに水処理・汚泥処理に影響する可能性が低く、５年程度内に実施を要求するもの					

表 5-23　過年度の修繕履歴一覧（浸出水処理施設）

年度	修繕完了月	対象箇所	推　奨　内　容
令和4年度	2022/5	砂ろ過塔流出弁	動作不良による交換
	2022/5	モニタリング井戸ポンプ砂取器	〃
	2022/10	No.2原水ポンプ	動作不良による更新
	2023/5	再利用水配管脱落部	脱落部補修
	2023/3	コンプレッサー	分解整備
	2023/3	除湿器	動作不良による更新
	2023/3	No.1第二調整槽水中撹拌機	〃
	2023/3	砂ろ過塔電磁弁/弁体	動作不良による交換
	2023/3	活性炭塔電磁弁/弁体	〃
	2023/3	水槽内フリクトスイッチ	〃

5.5 漁業集落排水処理施設

1) 今月の保守点検について

5 地区の対象施設の内、戸島地区を除く 4 地区は 10 月 14 日、28 日に保守点検を行った。また、戸島地区については 10 月 28 日に保守点検を行った。毎月の保守点検内容は、要求水準書に定められている項目を実施し、後段に添付のチェックリストにより確認を行った。

■要求水準書の浄化槽の点検項目（毎月）

・浄化槽の維持管理（水質管理、機械管理、配管管理）

・浄化槽への薬剤投入

・中継ポンプ場の維持管理

・機器消耗品、油脂の管理

主要な点検結果は以下の通りである。

7 月の少雨の影響で、過曝気状態となり低値であった蜂ヶ尻処理施設の放流水pHは、10 月は雨量が少なかったが、8 月から継続して正常値で推移している。

表 5-24　点検結果表

項目	点検日	池ノ浦	白浜	蜂ヶ尻	中ノ島	戸島	備考(適正値等)
放流水 透視度(cm)	10月14日	30	30	30	30	－	20cm以上
	10月28日	30	30	30	30	30	
ばっ気槽 溶存酸素(DO)	10月14日	○	○	○	○	－	1.0mg／L以上
	10月28日	○	○	○	○	○	
放流水　pH	10月14日	6.3	6.9	6.5	6.7	－	5.8～8.3
	10月28日	6.1	6.8	6.6	6.9	6.2	
消毒薬投入量	10月14日	有	有	有	有	－	
	10月28日	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	

表 5-25　電流値の測定結果

機器名	点検日	池ノ浦	白浜	蜂ヶ尻	中ノ島	戸島
原水ポンプ定格電流値		4.0	2.1	2.3	2.6	2.3
原水ポンプ　No.1	10月14日	2.4	1.8	1.6	2.2	－
	10月28日	2.4	1.8	1.6	2.2	1.8
原水ポンプ　No.2	10月14日	2.8	1.8	1.6	2.2	－
	10月28日	2.8	1.8	1.5	2.2	1.8
調整ポンプ定格電流値		2.2	1.5	1.2	1.7	1.3
調整ポンプ　No.1	10月14日	1.4	1.0	1.0	1.0	－
	10月28日	1.4	1.0	1.0	1.0	1.0
調整ポンプ　No.2	10月14日	1.5	1.0	1.0	1.0	－
	10月28日	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0
放流ポンプ定格電流値		6.4	1.6	1.6	1.7	1.6
放流ポンプ No.1	10月14日	5.5	1.2	1.2	1.0	－
	10月28日	5.5	1.2	1.2	1.0	1.2
放流ポンプ No.2	10月14日	5.5	1.2	1.2	1.0	－
	10月28日	5.5	1.2	1.2	1.0	1.2
中継ポンプ定格電流値				5.8	6.8	6.8
中継ポンプ No.1	10月14日	－		5.6	5.5	－
	10月28日	－		5.6	5.5	5.7
中継ポンプ No.2	10月14日	－		5.8	5.7	－
	10月28日	－		5.6	5.5	5.7
ばっ気槽ブロアー定格電流値		8.4	3.0	6.0	6.0	3.0
ばっ気槽ブロアー No.1	10月14日	－	1.8	3.5	3.4	－
	10月28日	－	1.8	3.5	3.4	1.8
ばっ気槽ブロアー No.2	10月14日	8.0	1.8	3.5	3.3	－
	10月28日	8.0	1.8	3.5	3.5	1.8
調整ブロアー定格電流値		6.0	1.6	1.8	1.8	1.6
調整ブロアー	10月14日	3.0	－	1.2	2.1	－
	10月28日	3.0	－	1.2	2.0	－

2) 機器の点検結果による考察

以下に、処理施設における点検及び故障による修繕推奨機器リストを添付した。

なお、8 月に池ノ浦地区の No.1 ブロワーサーマルスィッチが作動し、複数回警報が発報された原因は、制御盤内のマグネットスィッチ（電磁開閉器）の異常であると推定されるため、交換に向けて準備中である。

また、中ノ島地区の処理施設に隣接する公衆トイレ電灯の点灯を制御する制御盤内のタイマーウォッチ交換は終了した。

表 5-26　令和 5 年度修繕推奨機器リスト（漁業集落排水処理施設）

委託業務の名称	令和5年度　須崎市漁業集落排水処理施設包括的民間委託業務 修繕推奨項目					２０２３年１１月２４日改定	1/1
提案月	件数	緊急度	対象箇所	推　奨　内　容	完了日	備　　考	
2021/1	1	B	蜂ヶ尻地区処理施設	パトライト		回転不良（点灯正常）	
2022/7	2	B	戸島地区処理施設	放流槽フロートスイッチ交換		動作不良（老朽化）	
2022/7	3	S	池ノ浦処理施設	操作電源ブレーカーの自動通報装置	2023/4/18	機能追加	
2022/12	4	B	各処理施設現場盤	処理場制御盤内豆電球交換		動作不良（老朽化）	
2023/3	5	A	中ノ島地区処理施設	操作室ドア交換	2023/7/4	ドア蝶番不具合（開閉困難）	
2023/5	6	S	白浜地区処理施設	原水槽ポンプ交換	2023/6/20	動作不良（老朽化）	
2023/6	7	S	蜂ヶ尻地区処理施設	流量調整槽フロートスイッチ交換	2023/6/20	動作不良（老朽化）	
2023/6	8	A	白浜地区処理施設	原水槽フロートスイッチ交換	2023/7/22	動作不良（老朽化）	
2023/9	9	S	池ノ浦処理施設	ブロワーマグネットスイッチ交換		動作不良（老朽化）	
2023/9	10	S	中ノ島地区処理施設	公衆トイレ電灯用タイマーウォッチ	2023/10/23	動作不良（老朽化）	
備　　考	**緊急度の判定基準** Ｓ ： 不具合を生じている、または生じる可能性が高く代替機器等がないため早急に実施を要求するもの Ａ ： 不具合の可能性があり、水処理・汚水処理に対する影響が大きく１年以内を目処に実施を要求するもの Ｂ ： 水処理・汚泥処理に対する影響があり、今後２～３年以内に実施を要求するもの Ｃ ： 直ちに水処理・汚泥処理に影響する可能性が低く、５年程度内に実施を要求するもの						

表 5-27　過年度の修繕履歴一覧（漁業集落排水処理施設）

年度	修繕完了月	対象箇所	推　奨　内　容
令和2年度	2020/4	白浜地区処理施設	放流ポンプ、フロートスイッチ交換
	2021/1	蜂ヶ尻地区処理施設	フロートスイッチ交換
令和3年度	2021/5	戸島地区中継ポンプ場	フロートスイッチ交換
	2021/10	池ノ浦処理施設	電線ケーブル配管更新
	2021/11	白浜処理施設	No.1ブロワー交換
	2021/12	中ノ島地区中継ポンプ場	フロートスイッチ交換
	2021/12	池ノ浦処理施設	ブロワーオーバーホール、原水槽フロートスイッチ交換
	2022/1	中ノ島地区処理施設	配管修繕
令和4年度	2022/5	戸島地区処理施設	ブロワータイマースイッチ交換
	2022/7	蜂ヶ尻地区処理施設	マンホールポンプフロートスイッチ交換
	2022/9	中ノ島地区処理施設	処理施設横洗い場水栓交換
	2023/3	戸島地区中継ポンプ場	ポンプ本体

5.6 雨水ポンプ場

1) 今月の保守点検について

下表のとおりの日程で、各施設の維持管理を行った。

毎月の保守点検内容は、要求水準書（または業務特記仕様書）に準じて行い、後段に添付のチェックリストにより確認を行った。

表 5-28　点検実施日（１０月）

機場名	月点検	週点検	週点検	補機点検
大間ポンプ場	２３日	１６日	３０日	４日
公共ポンプ場	３０日	４日	２３日	１６日
須崎ポンプ場	２日	１０日	２４日	２０日
西部ポンプ場	１０日	２日	２０日	２４日
浜町ポンプ場	４日			

表 5-29　各ポンプ場燃料貯蔵状況（１０月）

貯蔵量 / 機場名	貯蔵容量		9月			給油量（ℓ）	10月(今月)			燃料増減（運転時間）計測日
	屋内タンク（ℓ）	屋外タンク（ℓ）	屋内タンク（ℓ）	屋外タンク（ℓ）	総量（ℓ）	給油日	屋内タンク（ℓ）	屋外タンク（ℓ）	総量（ℓ）	屋外タンク（ℓ）
大間ポンプ場	800	10,000	580	8,600	9,180	0	580	8,400	8,980	200（0.3H） 10月30日
公共ポンプ場	1000×2	20,000	820×2	5,700	7,340	0	820×2	5,500	7,140	200（0.1H） 10月30日
須崎ポンプ場	800	10,000	660	8,100	8,760	0	660	8,100	8,760	0（0.2H） 10月30日
西部ポンプ場	900	5,000	820	2,700	3,520	0	820	2,700	3,520	0（0.4H） 10月30日
浜町ポンプ場（自家発電機）	390		375			0	375			0（0.0H） 10月4日
				合計		0				

※燃料増減は、各ポンプ場最終点検時の屋外燃料タンク増減量の数値です。黒ー増　赤ー減

（ ）内はディーゼルエンジン掛けポンプ及び自家発電機（A重油、軽油）の合計運転時間です。

2) 修繕推奨項目表

10 月の点検結果から作成した修繕推奨機器リストを以下に添付した。

表 5-30　令和 5 年度修繕推奨機器リスト（各雨水ポンプ場）

委託業務の名称	令和5年度　須崎市雨水ポンプ場点検業務 修繕推奨項目						２０２３年１１月２４日改定	1/1
提案月	件数	緊急度	ポンプ場名	対象箇所	推　奨　内　容	完了日	備　　考	
2020/4	1	B	大間ポンプ場	原動機	燃料噴射ポンプの調整		No.3排気温度のバランス不良	
2023/4	2	C		吐出弁	グリス交換		No.2開時、異音	
2020/4	3	B		放流ゲート	放流ゲートプルボックスの修繕		腐食、破損	
2020/4	4	B		冷却水ポンプ	ポンプ更新		絶縁抵抗測定値 No.1 100MΩ No.2 1.5MΩ No.3 100MΩ	
2020/6	5	B		床排水ポンプ	ポンプ更新		絶縁が低下　No.1 30MΩ No.2 30MΩ	
2020/4	6	B	公共ポンプ場	原動機	燃料噴射ポンプの調整		No.3排気温度のバランス不良	
2020/4	7	B			分解整備		No.2・3温調弁固着	
2020/4	8	B		吐出弁	新規水位計の設置		吐出井水位計故障	
2020/4	9	B		放流ゲート	修理		No.1・2放流ゲート故障	
2023/4	10	A		ポンプ	修理		No.1電動ポンプ軸受部、水漏れ・錆多し	
2020/4	11	B			修理		No.2電動ポンプ軸受部、錆多し	
2020/4	12	B		空気槽	修理		No.3空気槽ドレン抜き弁固着	
2020/4	13	C		冷却水ポンプ	ポンプ更新		絶縁抵抗測定値 No.3 100MΩ No.4 100MΩ 予備 100MΩ	
2020/4	14	A		高架揚水ポンプ	ポンプ更新		絶縁が低下　No.1 0.3MΩ No.2 5MΩ	
2023/10	15	A		移動式除塵機	操作盤修繕		プログラムコントローラー故障	
2020/4	16	B	須崎ポンプ場	外部設備	塗装（取替）の必要		除塵機チェーン発錆	
2020/4	17	B		放流ゲート	修繕		故障　動作不良	
2020/4	18	C		吐出弁	グリス交換		No.2運転時、異音	
2023/4	19	S		沈砂掻揚機	既設撤去、更新		No.1チェーン破断一部脱落しており運転不能	
2023/4	20	S			更新		No.2チェーン連結ピン１本切断しており運転不能	
2020/4	21	C	西部ポンプ場	吐出弁	グリス交換		No.4運転時、異音あり	
2020/4	22	B		原動機	分解整備		No.1・3温調弁固着あり	
2020/4	23	B			交換		No.2給気圧計故障	
2020/4	24	B			交換		No.3温度計故障あり	
2020/4	25	B		減速機	交換		No.2減速機油温計故障あり	
2020/4	26	B		電気関係	交換		電気室１号制水扉開度指示計故障あり	
2020/4	27	B		流入ゲート	整備		No.2流入ゲート開動作時に過トルク検知あり	
2020/4	28	B		沈砂掻揚機	整備		２号水中軸上下用故障ランプ点灯、砂堆積の疑いあり	
2020/4	29	C		天井水銀灯	交換		２灯点灯せず	
2020/4	30	B		沈砂水平搬出機	交換		現場盤、電流計故障あり	
2020/4	31	A		冷却水ポンプ	ポンプ更新		絶縁抵抗測定値 No.1 90MΩ No.2 100MΩ No.3 1.5MΩ	
2020/4	32	C		床排水ポンプ	ポンプ更新		絶縁抵抗測定値 No.1 13MΩ No.2 13MΩ	
2023/4	33	S		No.1沈砂掻揚機	土砂撤去後調査		No.1沈砂掻揚機動作不良	
2023/4	34	S		No.2沈砂掻揚機	土砂撤去後調査		No.2沈砂掻揚機動作不良	
2023/10	35	S	浜町ポンプ場	電気関係	交換		UPS故障	
備　　考	**緊急度の判定基準** Ｓ　：　故障、不具合発生等によりポンプの運転に支障あり　緊急に交換、整備、修繕を要する Ａ　：　ポンプの運転には直ちに支障は無いが早めに交換、整備、修繕を要する Ｂ　：　経年劣化等により部分交換、分解整備が必要なもの Ｃ　：　経年劣化等により部分交換、分解整備を推奨するもの							

表 5-31　過年度の修繕履歴一覧（雨水ポンプ場）

年度	修繕完了月	ポンプ場名	対象箇所	推　奨　内　容
令和2年度	2020/5	公共ポンプ場	地下タンク	漏水箇所修繕が必要
	2021/1	須崎ポンプ	冷却水ポンプ	交換No.2バルブハンドル
令和3年度	2021/11	公共ポンプ場	冷却水ポンプ	点検整備、No.3逆止弁交換
	2021/11	公共ポンプ場	No.4エンジン	分解整備、交換
	2022/2	公共ポンプ場	冷却水ポンプ	点検整備、No.3逆止弁交換
	2022/2	公共ポンプ場	No.3エンジン	交換
	2022/3	西部ポンプ	No.2エンジン	始動空気配管修繕
令和4年度	2022/5	公共ポンプ場	エンジン、減速機	更新
	2022/7	大間ポンプ場	消火器	交換
	2022/7	公共ポンプ場	消火器	交換
	2022/7	須崎ポンプ場	消火器	交換
	2022/7	西部ポンプ場	No.2エンジン	始動空気配管修繕
	2022/7	西部ポンプ場	消火器	交換
	2022/7	浜町ポンプ場	消火器	交換
	2022/7	浜町ポンプ場	常時排水ポンプ	更新
	2022/11	須崎ポンプ	原動機	No.2温調弁分解整備
	2022/11	須崎ポンプ	原動機	No.2過給機吸込フィルター交換
	2023/1	大間ポンプ場	空気圧縮機	分解整備
	2023/3	大間ポンプ場	自家発	更新

6 その他連絡事項

■次回会議日程

次回すさき家パートナー会議 （ 11 月度 ）の日程案を示した。